

事業名	プレコンセプションケアおよび女性の食生活改善の推進		
主幹健保名	FWD生命保険健康保険組合		
参加健保組合数	7組合	うち加入者1万人未満の健保数(割合)	4組合(57%)
コンソーシアムの特徴	女性の健康課題に取り組む健康保険組合		

エグゼクティブサマリー		
背景・目的	事業内容	効果・成果
プレコンセプションケアについては、取り組みについての先進事例が少ないことが課題であるため、まずはプレコンセプションケアの基本的な知識の普及のために、健保加入者への共同での研修の実施(オンデマンド配信)および昨年度取り上げられなかった女性特有の食生活改善のために必要な知識の普及のため、専門家より学び、食生活改善目的として共同で資料を作成する。また、資料を活用した事業を各健康保険組合が事業主と共に取り組み、事業の効果検証により、本事業および女性の健康対策事業を発展させるための課題と対策を検討することを目的とする。	 情報共有会① - 前年度実行および計画した事業の取り組みや課題共有 - オンデマンド共同研修の開催方法の検討  情報共有会② - 資料の活用の方針についての共有。 - 実行済事業の効果、課題や好事例の共有  女性特有の食生活の改善 - 専門家講演とディスカッション - 資料の共同企画制作  事業の効果検証 - アンケートによる事業の効果検証。好事例の共有や課題への対策の検討。 健康保険組合×事業主による事業の推進 事業の発展による女性の健康増進医療費適正化	■アウトプット指標 ① プレコンセプションケアのオンデマンド共同研修を実施する。 <u>研究機関で制作していた動画を活用させて頂く予定が、完成せず未実施</u> ② 食生活改善のための資料を一つ作成する。 <u>2種類作成</u>  ③ 完成した資料を活用した取り組みを実施する。 <u>全健康保険組合が事業主と連携の上で実施。</u> ■アウトカム指標 ① オンデマンド研修・資料を活用した取り組みの効果検証を行い、事業の課題への対策案、効果的な事業の実施方法をまとめる。 効果検証のためのアンケート結果では、<u>チラシで得た知識を元に、栄養バランスを考える・朝食を食べる・過度のダイエットは良くない、など具体的な行動に取り組むという意見が多数みられた。今後、新入社員研修や管理職研修等でさらに活用予定。</u>

1. 目的

＜保健事業としての目的＞

プレコンセプションケアについては、取り組みについての先進事例が少なく対策が難しいことが課題であり、さらに**女性の健康の基本となる女性特有の食生活改善のための取り組みについても、重要であるが取り組み事例は多くないことが課題であることがわかった。**

女性特有の食生活改善のために必要な知識の普及のため、専門家より健康保険組合や企業の女性の健康を推進する担当者が学び、**食生活改善を目的とした資材を共同で作成する。資材を活用した事業を各健康保険組合が事業主と共に取り組み、事業の効果検証により、本事業および女性の健康対策事業を発展させるための課題と対策を検討することを目的とする。**

＜共同事業としての目的＞

健保単独での検討が難しい女性特有の健康課題のうち、特に**事例の少ないプレコンセプションケア・女性特有の食生活改善の取り組みに関して専門家より最新の知識を得て、健康保険組合(および事業主)が共同で事業を実施し、その効果検証を共同で行うことで、事業をさらに発展させることを目的とする。**

2. 事業内容



情報共有会①

- 前年度実行および計画した事業の取り組みや課題共有
- オンデマンド共同研修の開催方法の検討



女性特有の食生活の改善

- 専門家講演とディスカッション
- 資材の共同企画制作



情報共有会②

- 資材の活用の計画についての共有。
- 実行済事業の効果、課題や好事例の共有



事業の効果検証

- アンケートによる事業の効果検証。好事例の共有や課題への対策の検討。



健康保険組合×事業主による事業の推進

事業の発展による女性の健康増進
医療費適正化

3. 共同事業の運営方針

FWD生命保険健康保険組合(主幹事)
C&Rグループ健康保険組合
丸井健康保険組合
ポーラ・オルビスグループ健康保険組合
ワコール健康保険組合
機缶健康保険組合
大和証券グループ健康保険組合

健康保険組合より以下の働きかけを事業主へ行う

- ✓ コンソーシアム内での講演やミーティングへの参加の働きかけ
- ✓ 女性の健康対策事業の取り組み共同推進



健康保険組合

女性の健康対策推進
コンソーシアム



事業主

神奈川県立保健福祉大学
保健福祉学部
栄養学科長・教授
田中和美先生
専門家講演・指導

JMDC
● + × ◀

事務局運営・会議開催支援
講師手配・報告書作成等

4. 主な活動報告

■事業運営委員会

計8回の会議にて、情報共有・専門家講演、チラシの制作、チラシの活用、効果検証の検討と結果報告、今後の方針検討、情報共有などを加入事業所含めて行った。

ミーティング内容	詳細	日にち	場所	全参加者数 (加入事業所の参加者数)
キックオフミーティング	自己紹介と事業概要・スケジュール確認	6/7(水)	Zoom	16(4)
情報共有会①	前年度実行及び計画した事業の取り組み状況や、効果・課題についての共有	6/29(木)	Zoom	17(7)
専門家講演&ディスカッション	講演：「女性特有の食生活の改善」 講師：神奈川県立保健福祉大学 栄養学科長 田中和美先生	7/27(木)	Zoom	16(5)
オンデマンド共同研修検討会	講演：「プレコンセプション教育動画について(要点・必須ポイント)」 講師：国立成育医療研究センター 鈴木瞳先生 プレコンセプションケアの動画視聴後、対象や配信方法等の動画活用方法を検討	8/24(木)	Zoom	17(7)
資材の検討ミーティング	食生活の改善に関する資材内容の検討	9/15(金)	Zoom と対面	19(8)
情報共有会②	資材の活用計画の共有、オンデマンド共同研修の実施状況や効果・好事例の共有	11/9(木)	Zoom	15(6)
効果検証検討ミーティング	アンケート調査による効果検証の方法や内容の検討	12/7(木)	Zoom	13(5)
最終ミーティング	効果検証の報告、健保様の取り組みによる効果や、次年度に向けた計画の共有	3/15(金)	Zoom と対面	12(5)

4. 主な活動報告

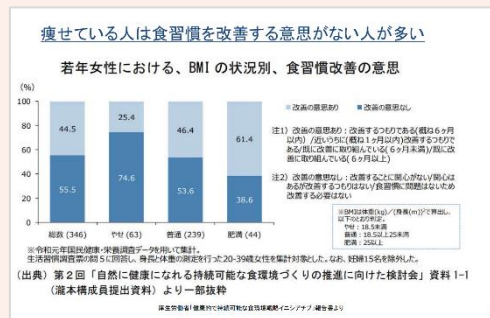
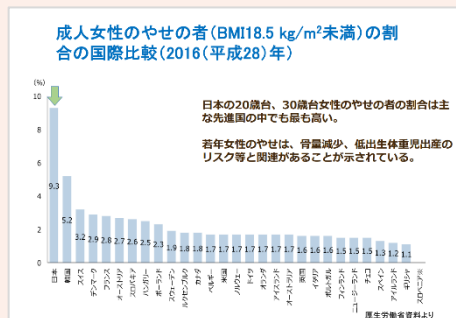
專門家講演 講師

神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 栄養学科長・教授 田中和美先生

講演テーマ

女性特有の食生活の改善について

講演内容の一部



- ・食事は生活そのものであり、意識と行動にギャップがあるとは、まさにおっしゃるとおりと感じました。
- ・日本人は痩せが多いことに驚きましたが、さらに改善意欲がないというのはもっとビックリです。指導が難しいと思いました。
- ・「食事はあくまでも手段で目的でない」、はこれからのアプローチにとても大事なことと感じました。
- ・やせの女性は、食習慣改善の意思を持つ割合が低いことをデータで知ることができ、やせ対策を保健事業として進める場合に、ハードルが高そうと感じました。
- ・働き盛りの20-40歳の女性が、他の性・年齢層に比べて野菜摂取量が一番少ないことは意外でした。若い女性はサラダ好きという印象がありました。
- ・20歳代の骨量が不十分だと、閉経後に骨粗しょう症を起こしやすいということは、20代以前にその教育・啓発を行っておくことがとても大事だと強く感じました。
- ・家計、ライフスタイル、生活リズムの偏りがやむを得ない場合、それに合わせた食べ物、食べ方の工夫がコンビニで手に入るものなど具体的にいくつも例示されていて参考になり、保健指導上も使えるのでありがたいです。
- ・女性のやせの問題が先進国においてここまで問題となっていることがまず初めて知りました。そして、女性の若い世代でも野菜の摂取量が少ないということにも衝撃を受けました。日本でスタイルの良しあしは、根強いものだと思います。その認識誤解を若い世代にいかに正しく伝えて、きちんとしたヘルスリテラシーにつなげていくかが、鍵になっていくのかなと感じました。これからの、日本において女性の社会で活躍しやすい状況をいかに作り、次の世代につなげていくのが今の自分たちの課題かと思えますので、学校教育の場だけでなく、今の働く現役世代にしっかりと伝えることが大切なことだと思いますので、まずはBMIにより適正体重を把握し、そのうえで適正なエネルギーを朝食から摂取し、食だけではなく睡眠など日常のバランス等の取り方なども発信し続けていければと思います。

参加者の感想や気づき

4. 主な活動報告

専門家講演 講師

国立成育医療研究センター 鈴木瞳先生

講演テーマ

プレコンセプションケアの概要

※先生のご講演後、制作中のプレコンセプションケアの動画を視聴させていただき、配信の対象や配信方法等の動画活用方法をグループディスカッションで検討

講演内容の一部

「プレコンセプションケア」とは

「Pre-」 = 前の前 + 「Conception」 = 妊娠や受胎

WHOの定義

妊娠が成立する前の女性やカップルに対して、健康状態を改善し、母子の健康状態の悪化につながる行動や個人・環境要因を減らすことを目的とした、生物医学的、行動学的、社会的な健康介入の提供である。

→ 妊娠する・しないに関わらず、プレコン世代の若者すべての健康管理！

胎児発生過程と環境からの影響

発生段階：受精後6日目頃
着床の完了：受精後カ〜10日目頃



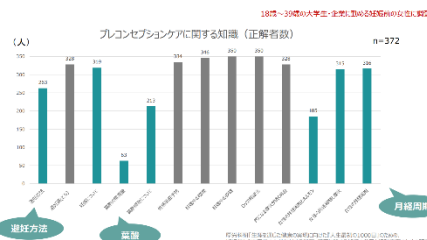
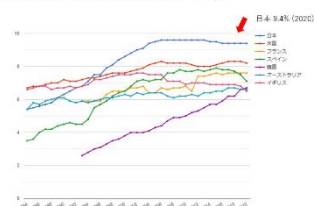
ミレニウム世代の食行動

- 欠食率の高さ、やせ願望
- コンビニやファストフードなどの利便性を重視
- デジタルネイティブ



「自分の体を作る」、「次世代の健康を守る」ための日々の食生活

主要国の低出生体重児の出生率（%）



このような知識を教育として授けるべきだと感じました。1990年代では、少なくとも学校教育では授けられていなかった。そのことから、ファシリテーションなどによる、自主的な学習を促す必要がある。このような学習を促す人が増えてほしいと思います。

高校生の時に性教育を受けたが、その内容は自分だけの問題だ、と見做していた。今、より自分にとって大切な知識であると感じた。知らないことを多くて、このワークショップを定期的に、またカギルで受けたい、そしてより多くの若い人に向けてほしいと強く感じました。

非常に多くの学びを得ることができました。中学生・高校生への情にこのような機会があれば、性教育や妊娠に関して正しい知識をもて賜えたいと思います。

このワークショップを通して、やむを得ないことでもリスクや性感染症予防について、知れ、自分の身体や生活を健康的に、大切にしようと思えます。スライドやパンフレットのデザインもきれいで、読みやすかったです。

参加者の感想や気づき

- オンラインでのインタビューについて、顔出しなしなど配慮すべきことお聞きできて今後の参考になりました。
- 動画は長めではあるが、きちんと理解するには必要な情報量であると感じました。グループディスカッションでは、他社の様々な取り組み事例を知ることができ、興味深いと思いました。
- 動画資料自体は有益情報であると強く感じたが、どうしても時間的拘束が発生するため、コンテンツごとに切り分けた提供（1本長くて10分以内）、プレコンノートを改修し、動画資料のリンクの貼り付け、各社・各健保の独自情報を掲載できるようなスペースを作り、汎用性を高めることができないかと感じました。
- 女性の健康状態は自身の問題だけではなく、次世代の子供たちの健康問題につながると改めて認識しました。近年では女性のやせと肥満の二極化が進んでおり、自分で自身の適正体重を認識しヘルスリテラシーの向上に繋がるような情報発信が健保側からできるようになればいいと思いました。
- 動画はとても分かりやすく、必要な情報が網羅されていたが、視聴時間が長く、全動画を研修や情報提供として共有するのは難しいため、カテゴリーに分けて動画を編集いただくか、この内容は何分何秒という見出しをつけて配信するのが理想的と思いました。
- 視聴時間が長いので、15分くらいにまとめるか、15分×複数本で作成して、見たいパートから見られるようにするのが良い。
- 「プレコン」の重要性を正確に伝え、視聴させたいような工夫が必要と思いました。
- 動画の内容は、基本的かつ大事な内容であると受け止め、わかりやすく大変勉強になりました。ただ、一般従業員向けの最初の教材ということと考えますと、ボリュームが多いと感じました。
- 各グループの発表にもありましたが、動画なら5-10分程度の短いものがよいと思います。また、今から別の動画を作ることがむずかしければ、プレコン〇箇条のような、ポイントをまとめた、掲示などがしやすい1枚のシートやカードで補完するのはいかがでしょうか。
- プレコンは、広くは生涯を対象とするとはいえ、やはり妊娠・出産・周産期に大きな重心があるのではないかと理解しました。これまでの健保の保健事業は、生活習慣病罹患年齢である35歳以上を主とした対象としていましたが、逆に35歳以下の若年を主な対象としたプレコン教育は、本来の社会的意義に加え、保健事業投資と分配の公平性という点からも大変意義があると感じました。

4. 主な活動報告

■アウトプット指標：食生活改善のための資料を一つ作成する。

対象：男女含む全社員向け

期待する行動：やせによる影響を把握し、栄養素を日々の食事でどのように摂るかがわかり、バランスの良い食事が選択できる。

デザインとタイトルを一部変更したパターンで2種類用意し、各健保組合が事業主と連携の上で、全対象者や一部対象を絞って配布・配信を行った。



やせ＝栄養不足を改善するためのポイントは裏面へ



やせ＝栄養不足を改善するためのポイントは裏面へ

女性の栄養不足を改善する食事のポイント

実は栄養失調？働く女性の大問題

栄養失調と聞くとも、食糧が乏しい国などで起こるものかと思いませんか？実は、働く女性の栄養失調は深刻です。ダイエットのための食事制限、無った食生活により、必要な栄養素が摂れず、栄養失調が起るのです。これにより、消化やだるさ、片頭痛や食後の寝込み、肌荒れや仕事の効率の低下にもつながります。口元は唇が割れやすくなる低栄養性(心臓や腎臓、骨密度低下)を報告する論文も出ています。手帳に取れるプロテインシェイクやサプリメントでエネルギーをカットしすぎたり、着た食生活になっていませんか？更年期の症状も栄養バランスを整えると、身体との調子がアップします。美しくながら食事を摂る工夫をして、充実した食生活を送りましょう！



栄養バランスを整えるのは簡単！

1食は削ってしまっても大丈夫

朝食はやっぱり食べた方がよい？

朝食は手軽な簡単なものでOK!

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の例



主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上摂ることを目指して！

簡単いらずの朝食簡単メニュー！



朝食を食べないことは、「逆ダイエット」と言われるくらい入りやすい習慣。朝食を食べない分、夕方や夜に高カロリーな食事を食べると、脂肪の蓄積につながります。必要な栄養素を摂ろうとすると、残りの夕食でたくさん食べなければなりません！朝食を摂ると「冷え」の改善、午前中の仕事のパフォーマンスアップ！

栄養失調や不足状態に効果的！期待できる食品をチェック



5分で作れる簡単レシピをチェック



女性の栄養に詳しい先生に聞きました！ 神奈川県立保健福祉大学 栄養学科 田中和美 先生

食事は質が上がると、体感が良くなり仕事の効率も上がりやすくなります。多量な糖質で食事は栄養のバランスを崩します。まずはスモールステップで、簡単な食生活から始めるのが、ポイントです。

4. 主な活動報告

■アウトプット指標：完成した資料を活用した取り組みを実施する。

すべての健保組合で、事業所と協働での資料の活用（社内イントラへの掲示や、研修での配布等）を実行した。

	対象	活用方法	時期	アンケート結果・配信等による課題と今後の対策
A健保	全社員、全年齢対象	イントラネット、メールでのチラシとアンケート配信 ※アンケート回答者にポイント付与	2024年2月	- 回答した社員からは朝食の見直しをするなどの行動変化のフィードバックがあった。 - 食事については、2024年度の健康経営重点施策としているので、他の施策と合わせて引き続き利用したい。 - ポイント付与は、参加を促す一定の効果があるようなので、活用して楽しく参加できる環境を作りたい。
B健保	20・30代被保険者	健保マイページのメルアドへ送信	2024年2月	アンケート回答数は低調であったものの、コメント（1食は偏っても大丈夫とポジティブな言葉が働く女子の生活に理解を示していると感じた/やせ体質の人はどうすべきか知れたらよい/日本女性の健康や妊娠に関する事実を知りショックを受けた）は参考になった。
C健保	全社員	・紙媒体での周知（全事業所）	2024年1月	パターン1のデザインを配布し、男性向けは無いですかという問い合わせがあり、パターン2のデザインも配布した。
C健保	Pep Up登録者限定	Pep Upのアンケート機能 ※性別を分けて、デザインを変え配信。 他イベントとの掛け合わせ、アンケート回答者にポイント付与	2024年1月	「参考になった」「これからも健康情報を発信してほしい」等のコメントも多数あり、情報提供方法として、アプリ登録促進を継続。 「会社」「家族」周りに伝えていくコメントもあり、インフルエンサーのような方を増やしていく。
D健保	全社員	社内イントラで発信	2024年2月	男性からの好印象の意見が多かった。小さい赤ちゃんだと生活習慣病リスクが高い点に興味を持たれていた。資料は大変好評であったが、女性の健康の主張が強すぎた。痩せ対象の配布を実施予定。
D健保	新入社員	新入社員導入研修（WEB）で配布	2024年6月予定	－
D健保	26歳の社員	キャリア研修で紙配布	2024年9月予定	－
D健保	入社2・3年目	入社2・3年目研修で紙配布	2024年8月予定	－
E健保	女性の役職員	社内メールアドレスへ個別配信	2024年1、2月	来年度は肥満に対するチラシを作成して送付したい。ポディーニュートラルという新しい視点で情報発信している。
E健保	役職員	① 女性の健康月間イベントの際に社内掲示 ② 各健康管理セミナー資料の一部として活用 ③ 社内の健康管理センター内にチラシを設置、ポスター掲示、HP掲載 ④ 各社衛生委員会で配布説明 ⑤ 定例イベント参加者へメール内で周知、配送物にチラシを同封	①2024年3月 ②セミナーの開催にあわせて随時 ③④⑤進行中	上記同様
E健保	新入社員	入社時のセミナー資料の一部として活用（関連会社については配布）	2024年5月実施	上記同様
F健保	BMI18.5未満の20-30代女性	社用メール配信	2024年2月	赤ちゃんにも影響が出るとのことだったので、今から改善するべきだと思った。痩せ体質のため、色々な影響があると知り、意識して食べようと思った。などの生の意見があり、やせ体質の意見が気になった。
G健保	BMI18.5未満の女性	2024年度健診後結果でBMI<18.5未満になった方へチラシを配布	2024年7月以降予定	今回実施のアンケートでBMI18.5未満の方で約1割が健康に悪影響を与えること知られていないことがわかったので、再度BMI18.5未満に対し、別途情報発信を予定。

5. 成果報告

<共同事業としての成果>

■ **アウトカム指標**：資材を活用した取り組みの効果検証を行う。

■ **合同アンケート調査の実施**

アンケートの概要

7つの健康保険組合が、各々対象を選択し、事業主と連携してWebでのチラシデータを配信し、同時にアンケート調査を実施。調査内容は、性別・年齢・BMI（未回答可）、やせの健康への影響の認識、チラシで印象に残った内容・もっとも印象に残った内容・初めて知ったこと、チラシから得た知識をもとにどのような行動をとりたいか（自由回答）、ネット・プロモーター・スコア、チラシの感想の項目とした。

回答は、性別・年代・BMIの階層別の集計を行った。

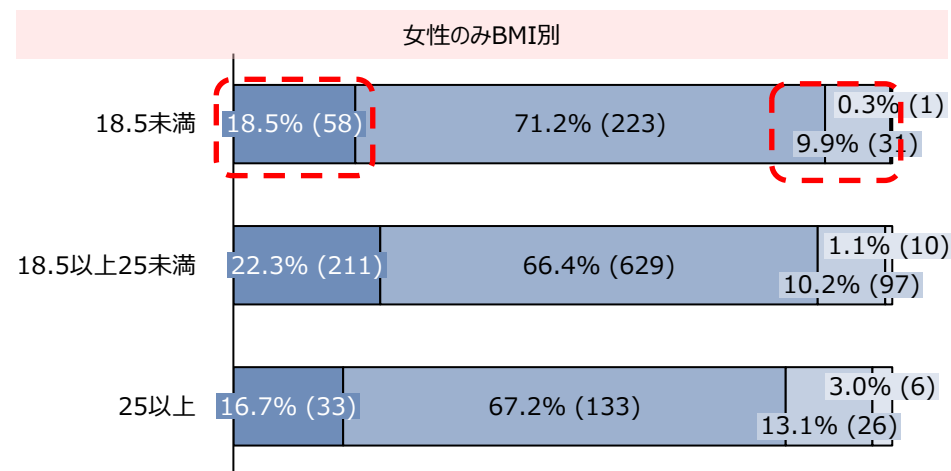
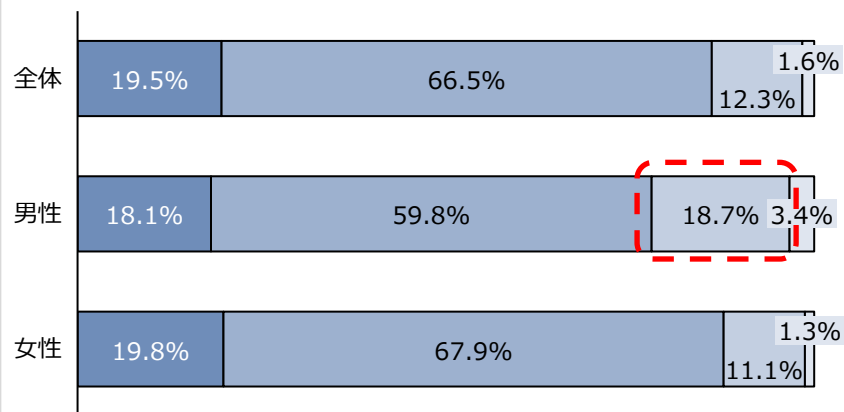
回答者は**1987名**で、女性83%、BMI18.5未満の対象は21%だった。

■ アンケート結果の一部 女性のやせの健康影響についての認知度

男性は、女性のやせの健康影響について「あまり知らなかった」の割合が**18.7%**と女性よりも**6.4%**高く、「全く知らなかった」の割合も女性より高い。また、BMI別では、**18.5未満の対象において「あまり知らなかった」が10%程度**おり、また、「よく知っていた」の割合は、標準体重（BMI18.5-25未満）の対象に比べて、**3.8%低かった**。

女性のやせ過ぎが健康に悪影響を与えることについて、知っていましたか？

よく知っていた ある程度知っていた あまり知らなかった 全く知らなかった

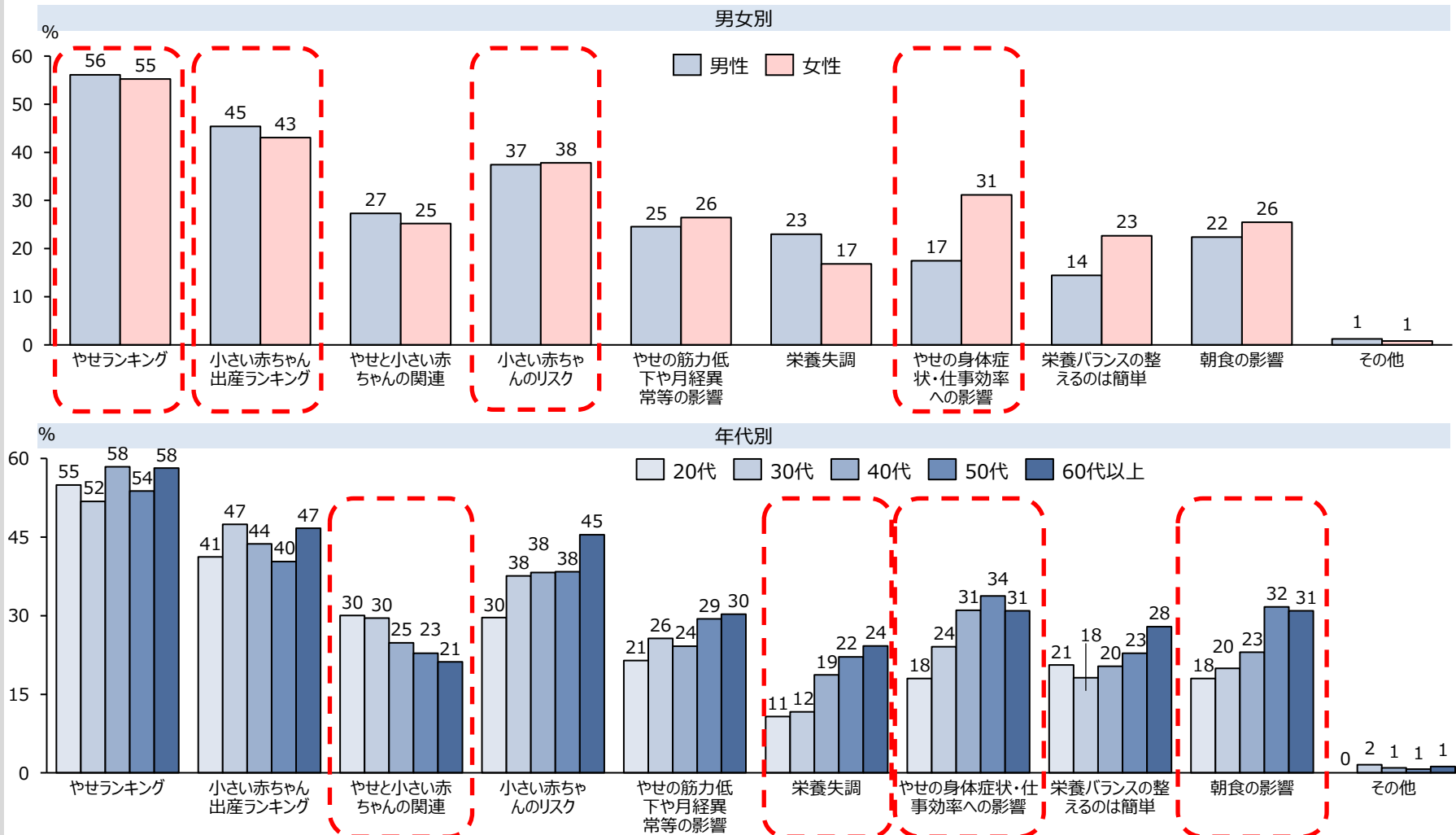


5. 成果報告

■ アンケート結果の一部 チラシで印象に残った内容

やせの世界ランキングや小さい赤ちゃんの出産ランキング、小さい赤ちゃんのリスク（小さく生まれた赤ちゃんは将来生活習慣病になるリスクが高くなる）、**女性においては、身体症状・仕事効率**（やせが冷えやだるさ、片頭痛、気分の落ち込み、肌荒れ、仕事効率低下）への影響が印象に残っていた。年代別では、若年層ほど、**栄養失調**（ダイエットや食事制限、偏った食生活による栄養失調）や**身体症状・仕事効率や朝食の影響**が印象残っている割合が少なく、やせと小さい赤ちゃんの関連は、**20-30代に印象に残っていた**。

今回のチラシの中で、印象に残った内容を選択してください。※複数回答



5. 成果報告

■ アンケート結果の一部 チラシによる行動変容

下記チラシ作成の目的を達成するコメントが多数寄せられた。

期待する行動（チラシ作成の目的）：痩せによる影響を把握し、栄養素を日々の食事でどのように摂るかがわかり、バランスの良い食事が選択できる。

今回のチラシから得た知識をもとに、あなたはどのような行動を取りたいと思いましたか？（自由記述）

■ 多数見られた回答のまとめ

- 1食は偏っても大丈夫
- 3食バランスよく食べる
- ダイエットのしすぎは良くない
- 娘に伝えたい
- 朝食を食べる
- 野菜を増やす
- 栄養バランスの整った食事を摂る などがコメントとして多く見られました。

■ 以下抜粋コメント

- 過度なダイエットは健康的でないと親しい人と話す
- 妻にこの情報を教え、注意喚起する。
- 朝食はしっかりと食べ、無理なダイエットはしないようにと思いました
- 朝食は抜きがちだったので、今後は摂取しようと思いました。
- 娘に食事をしっかり摂るように言う
- 「痩せている＝不健康」の印象が強い。極度のダイエットを促さないためのものかもしれないが、体重計に乗った女性が痩せたことを悲しんでいるように見える。世界一のやせ型、子供が小さく生まれる。など統計で言われても自分事として感じられない。
- 娘に過度なダイエットはしないように促す。
- 無理なダイエットはせず、きちんと食事を摂って適度な運動で健康をキープすることが大事だと思います。
- 1週間単位で栄養バランスをとれたら良いと考えているが、チラシには1日で記載されていた。1日でバランスをとるのは難しい。
- 「5分で作れる簡単レシピをチェック」の二次元コードのリンク先にあったページでレシピを見てみようと思いました。
- 外食が続くと野菜不足になるため、意識をして野菜を摂るようにしている。
- もう子供を産む年齢ではないが、食生活がいかに大切かを改めて実感したので、更年期対策の上でも栄養を積極的に摂りたいと思いました。
- 1食は食事バランスが偏っても良いというので、少し罪悪感が減りました。根詰めずに改善しようと思います。
- ダイエットによる欠食は体に悪い影響を与えるので きちんと3食摂るように心がけたいと思いました。
- 娘の食生活にもっと気を配ろうと思いました。
- バランスの良い食事と朝食を少しでも摂って出社する事が大事と感じた。
- 簡単にでもいいから朝食を摂ろうと思いました。
- 一日の食事のバランスを考えて、偏った食生活にならないように 気を付けたいと思いました。

5. 成果報告

<共同事業としての成果>

■アウトカム指標：事業の課題への対策案、効果的な事業の実施方法をまとめる。

課題	対策
女性のやせの健康影響について、「よく知っていた」対象は20%ほどに留まり、男性は女性に比べて、女性のやせの健康影響についての認知度が低い。	男女問わず、女性のやせの健康影響について情報発信を行う。 啓発活動として、全社員へのチラシの配布や掲示だけでなく、キャリア研修や新入社員研修などでの配布や、研修内容へ取り入れるなどを行う。
BMI18.5未満の女性は、女性のやせの健康影響について「あまり知らなかった」が10%程度おり、また、「よく知っていた」の割合は、標準体重の対象に比べて、3.8%低い。	BMI18.5未満の女性へ、対象を絞って情報発信または医療職による保健指導などを行う。
やせ体質の女性への情報発信や発信時の配慮ができていない。 また、「女性」の健康の主張が強すぎる。	やせ体質の女性がいることにも配慮し、やせ＝過度なダイエットの結果であるという情報発信とならないよう、やせ体質の女性もいることや、食生活の改善方法など、気軽に取り組める対策に着目した発信を行う。 また、プレコンセプションケアにおいて、女性だけでなく、男性についても着目した発信（プレコンノート※の活用など）を行う。
アンケート回答者（＝チラシの閲覧者と仮定）が少なかった	チラシ配布とともに、アンケートを実施（または学習クイズなど）してポイント付与をする、その他様々な場面での配布や活用を行い、繰り返し発信を行う。

6. 今後の事業運営方針

本事業をきっかけに、女性の健康対策事業の取り組みを共有または女性の健康増進のための専門家講演による学びを継続し、情報共有や意見交換を行うことで、少ない先進事例を横展開していき、女性の健康増進に取り組む健康保険組合や事業主を巻き込んで、コンソーシアムを発展させる。

7. 感想・満足度調査

ご参加者感想

同様な悩みや課題のある健保と情報共有できたこと各種先生方から最新の知識を得たことでとても満足度が高いです。特に今回リアルでのMTGがありより情報共有が深まったと感じました。

アンケートの結果より、このような情報発信はありがたく、近い方へ伝えたい等の回答をいただいたので、引き続き健保組合としてポピュレーションアプローチを活用したい。他組合の方の取り組みを参考に2年目に他組合の取り組みを参考に保健事業を実施出来た。理由としては、専門家からの研修会もあり、また共同取り組み事業となるため、参考事例がより身近になることで、上申しやすく、実施至ったため。(事業内容：子宮頸がん検査)

私自身、知らないことが多く非常に勉強になりました。社内でもちらしを見た人から、朝ご飯を食べるようにしたと報告を受けました。正しい知識を社内に共有できたことで、少なからず健康に対する意識が上がったようです。

2年間継続事業で、初年度の共通認識があり、2年目の意思疎通が早く、より良い成果があった。先進的な企業も参加し、多様な議論・成果があった。満足度は100点満点。

各健保や企業の取り組みや今後の取り組みが知られたことや参考になったことは、いい機会であったと満足している。他社さんと同じ課題と一緒に取り組めたことは良かった。他社との交流があったのは良かったです。特に質問が思いつかないときもあり、時間を持て余したこともあるため、小グループではなく大人数でのほうが良いかなとも思いました。

他の企業、健保の取り組みや進捗について、共有できる場はありがたい 女性の健康課題、特に若年層に対しての啓発に1歩踏み込むことができて良かった。

1健保だけだと、なかなか加入者への情報発信の影響力がないので、世の中として現在課題認識しているという大きな発信としてのコンソの力はありがたかったです！

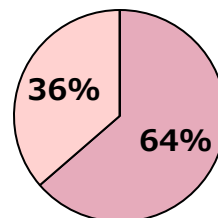
他社・他健保様の事例紹介、質疑応答などの時間は大変有意義でした。共同資料については動画に大きな期待をしておりましたため、未完成とのことで大変残念でした。

先生方のレクチャーは分かり易く構成されていて、女性の健康に関する基本的知識を得ることが出来た。健保間の情報交換では、先進的な取り組みを行っている健保の事例をご提供いただけたことが非常に有難かった。成果物である教育資料は、訴求ポイントが明確で理解し易いものとなったと思われ、対象者からの有益な反応が得られたと考える。対面で2回ハイブリッドで実施したが、情報交換タイムを少しとっても良かったかと思う。

プレコンセプションケアは、重要であるが健保にとっても会社にとって、何ができるのか、重すぎるテーマであると受け止めていましたが、基本知識を学ぶことができ、自組織としても一歩を踏み出す決断につながれたことは良かったです。参加各社の取り組みを情報交換して、他社様の女性の健康対策の進化が早いと実感しました。当社も特に自健保として具体的にどう取り組むかを考え、スピードを上げていきたいと思いました。

女性の健康は注目されている分、根拠のある正しい情報を社員に伝えていかなければならないと日々感じています。そんな中、有識者の方々のお話を聞ける機会は大変有意義でした。

コンソーシアム参加満足度
平均4.6 n=11



- 5 大変満足している
- 4 まあまあ満足している
- 3 どちらでもない
- 2 あまり満足していない
- 1 満足していない